

学校教育の概要 ～保護者・地域の皆様へ～



学び合い 高め合い みんなでよくなる下平間

キャリア在り方生き方教育 めざす子ども
学びをつなげ、考えを深める子

育成をめざす資質・能力

① 居心地がよく、子どもの居場所となる
「みんなでよくなる」学級づくり

- (1) 人権尊重教育の充実
いじめを許さない心の教育
- (2) 認め合い、学び合い、高め合いを意識した学級づくり、学年づくり
- (3) 特別なニーズに対応する支援教育の研修・実践及び教育相談の充実
- (4) 共生・共育プログラムに基づく、自己受容を促す人間関係づくり
- (5) 多様性を尊重し、共生・協働の精神の育成

② 自分で決め実行し、自己存在感が味わえる環境づくり（主体性、自立）

- (1) 「みんなでよくなる」ための支援の充実や環境づくり
他者を尊重する姿勢を育てるとともに個も尊重する
- (2) 自ら目標を立て、最後までやりぬくための支援
- (3) 児童会活動、学年実行委員等による自主的活動の実践及び充実
- (4) キャリア在り方生き方教育の推進
ふるさと川崎、ふるさと下平間への心の醸成（市制100周年への取組）

- 様々な学習や生活の場面で活用できる知識や考え方及び技能
- 未知の状況でも今までに学んだことを活用して考え、課題を解決する力
- 多様性を認め他者と協働する態度や、学びの意義を実感して生活に生かし、自分に折り合いをつけようとする態度

重点方針
目標に向かって 主体的に物事や学習に取り組む児童の育成

めざす学校像

- ・ 安心感、所属感が得られる
- ・ 「下平間小でよかった」と思える

めざす子ども像

- ・ 人の話を聞き自分の考えを言う
- ・ 自分で決める（最後までやる）
- ・ みんなでよくなる

めざす教師像

- ・ 常に人権意識、言語環境の向上をめざす
- ・ 子どもを主語に教育活動を語れる

③ 友達に伝え、友達から学び、友達とかかわる時間を意識した授業づくり（対話的な学び）

- (1) 教員の授業力の向上
新しい時代に必要となる資質・能力の育成を踏まえ、わかる授業の創造
- (2) 確かな学力、基礎学力の定着を「学び合い」「友達のかかわり」という視点からアプローチ
- (3) 子どもを主語に教育活動を語れる教職員の育成
- (4) GIGA 端末の有効的な活用及び情報モラル教育の充実

④ 基本的な生活習慣を身につけ、健康な心と体づくり
緊急時への対応力の定着

- (1) 基本的な生活習慣の定着とルール遵守の徹底（「下平間小のやくそく」の活用）
- (2) キラキラタイム、たてわり長縄等による運動習慣づくり
- (3) 健康に生活するために「栄養・運動・睡眠」への意識の向上
- (4) 緊急時に対応できる安全教育

⑤ 信頼される学校づくり
教育活動の様子が伝わる情報発信（社会に開かれた教育課程）

- (1) コミュニティスクールとして「学び合い 高め合い みんなでよくなる下平間」を合言葉に子ども・保護者・地域も含めみんなで学校を創り上げていく
- (2) 学校情報公開の推進
学校説明会、学校報告会、入学説明会、授業参観や懇談会、学校評価公表等 HP の活用

①～⑤は、「いじめ防止基本方針」とリンクしています。

